

令和元年度第 1 回磐田市旧見付学校協議会報告

日 時 令和元年 8 月 2 日（金）午前 10 時～11 時 30 分

会 場 埋蔵文化財センター 研修室

出席者 松井委員、兼子委員、大橋委員、金子委員、高橋委員、平野委員、木村委員
村松教育長、市川教育部長、高梨課長、村松課長補佐、匂坂囑託、高畑

1 委嘱状、辞令書交付

2 委員紹介

3 教育長あいさつ

4 会長・副会長選出 会長：兼子委員 副会長：大橋委員

5 会長・副会長あいさつ

6 議 事

(1) 平成 30 年度事業報告について

事務局より説明

入館者数、企画展「明治 150 年と学校教育」、昔の授業体験、「かすりの着物で写真撮影・昔の遊びを体験しよう」、旧見付学校・旧赤松家記念館「みんなの絵を大募集」、「ボランティア募集と勉強会」、旧見付学校ボランティア、消防訓練、その他 について

(2) 令和元年度事業計画について

事務局より説明

企画展「旧見付学校歳時記」、入館 50 万人達成記念式典、昔の授業体験、キッズのためのクイズラリー～めざせ 100 点～、かすりの着物で写真撮影&町並散策、旧見付学校ボランティア、消防訓練、その他について

7 閉 会

(質疑)

(委員)

たくさんの方が来る時のネックは駐車場が少ないことだった。見付駐車場ができたので、人を集めることも可能ではないか。せっかく児童・生徒が来るようになったので、学校の先生方への研修、特に、若い、昔のことを知らない先生たちに見付学校のあらましを紹介するというようなことができないか。

(事務局)

市内 22 小学校のうち 18 校が来てくれた。ベテランの先生は過去の経験もあり、そのまま当日を迎えるという学校もあるが、最近では、平成の年代の若い先生が増えたということで、下見にくる学校もある。

(委員)

見付駐車場は使用しているのか。

(事務局)

日常的には使用していない。イベント時には参加者、職員、ボランティアも使用させてもらっている。ただ、空き具合が詳細に管理されているわけではなく、小学校や交流センターで行事等があれば埋まってしまうと思う。北側にバスが4、5台入れるスペースがあるが、今のところそのような団体もなく、1台は学校前に駐車できるので、例年通りの状況でやっている。

(委員)

近所の方から、せっかく足場があるのに、なぜ他の所は修繕しないのかという意見があった。そこは縦割じゃなくて横が繋がる取り組みをして欲しいと思っている。

浜松いわた信用金庫の新入社員が、地域に出向き、そこを活性化するために何をすればいいのかを考える研修をしている。旧見付学校に関する意見を聞いてきた。入口付近の木の整備、見付の通りから旧見付学校に向かう道を改装し、分かりやすい看板等を設置、足場がある茶屋を旧見付学校の前に作り、ゆっくりくつろげようにしたらどうかというような意見が出たとのことだった。

(事務局)

今回は台風によるものを主に修繕したが、せっかく足場を組んだので、それに加えて窓の木枠の修繕も行った。なんとか予算内で対応できるということでやらせていただいた。

(事務局)

国指定史跡のため、その中の建物は、重要な構成要素となり、修繕等を行うには国の許可が必要になる。今回は台風被害ということで、以前の状態に戻すのが改修の大前提であり、それについての許可は国からおりた。せっかく足場を組んだので、危険な箇所については改修した。修繕しようと思えば、いろいろな箇所ができるが、今後50年先も今の旧見付学校が残る方策を考えていかなければいけない。今年度から2ヵ年かけて、耐震等の調査を実施する。それを元に、今後どのような形で改修していくのかなどの計画を作成し、計画的に執行していきたい。傷んだ箇所の改修については、現時点では概ね昨年度の改修で出来たと考えている。

(委員)

公園の木については、管轄が都市整備課になると思うが、多少は伐採してくれたのではないか。

(事務局)

都市整備課に現場を見てもらい、電線に引っかかっている箇所もあったので、しっかり管理をお願いしたいという話はした。

(委員)

基礎的調査を2ヵ年かけてという話があったが、例えば中間報告とか令和2年あたりに、令和3年以降の改修計画のようなことも今後の議題になる可能性があるのか。

(事務局)

2年間調査をし、その結果を踏まえ、改修にどのくらいの費用がかかるのかなども分かり、今後の計

画を作っていくという形になると考えている。

(委員)

10年ほど前、入館料を徴収できないかという話がでた際に、耐震がされてない以上は無理だという話をした記憶がある。

(委員)

耐震をしていないから入館料の徴収ができないのか。

(委員)

一つの意見としてあったと記憶している。

(事務局)

入館料の徴収となるとコストがかかってくる。そのコストと実際入る入館料を見て、徴収することが全体的に施設を管理する、維持するメリットになるかどうかはかなり微妙だと思う。文化財課としては歴史を含め、旧見付学校を磐田の教育を発信する場という位置づけをしている。館長が一生懸命、力をいれてくれているように、小学生等に来てもらって学習する場、そのような性格を持っているので、諸々な事を含めて、無償の施設の方がいいだろうという判断をしていると考えている。

(委員)

前にギネスブックに載っているというような話を聞いたことがあるが載っているのか。

(委員)

旧見付学校は現存している中で日本一古い擬洋風建物。確かにそういう意味では、どこかに載ってもいいのかなと思うが、ギネスまではいかないだろう。

(委員)

我々は昔から旧見付学校を知っているけれども、今の若い人には日本一古いとアピールしてもいいのではないかと。価値観が変わる。

(教育長)

日本の中で一番古いのは旧見付学校だといつも宣伝してくるが、歴史的なものも含めて難しい所はある。でも自信を持って一番古い。これは話をしていけないといけないと思っている。

(事務局)

見学に来る小学校3年生にもちゃんと伝えている。

(委員)

静岡市の小学校が見学に来たという話もしていたが、去年初めてか。

(事務局)

去年は静岡市から常葉橘の小学校部、掛川の大坂小学校、浜松の佐藤小がきた。

(委員)

去年からそういう傾向が出てき始めたのか。

(事務局)

そうですね。

(委員)

こういう時は旧赤松家記念館へは行かないのか。

(委員)

旧赤松家記念館は旧見付学校のように小学校も中学校もあまり来ないが、最近が増える傾向にある。去年は浜松市の丸塚中学校の生徒がきてくれて、なぜ浜松から来たのか聞いたところ、磐田ではこのような文化財をどのように活用し、生かしているのかを調べに来たと言っていた。その他、森中学校の生徒も来てくれた。このように地域の広がりも多少ある。旧赤松家記念館は内容的にちょっと難しいところがあるが、もっと市内からたくさん来てくれたら嬉しい。

(委員)

貸切バス代がかかるためこの学校も渋っていたが、学府のバスが使用できるようになり、来館してくれる小学校が増えている傾向が強いと思う。

夜間のライトアップはきれいだと思うが、大橋委員さんは地元の方の話等を聞いたことないか。

(委員)

特別言われたことはないが、ライトアップされているほうがいいし、皆さん嬉しいのではないか。

(委員)

ある一定の期間だけライトアップされ始めたが、お盆の時は点いていない。帰省される方もいるので、お盆もつけていただきたい。

(事務局)

省エネの関係もあり、夏は特に電力需要の増大もあるため遠慮していた。照明灯もかなり老朽化しており、今年度、LED化する予定。消費電力等を確認し、ライトアップの機会をもう少し増やす方向で計画していきたい。

(委員)

電気代はどのくらいなのか。

(事務局)

電気代については個別メーターが付いてないので分からない。ただ、今の照明灯は昔のタイプの水銀灯なのでかなりかかっているのではないかと。熱も出ていると思う。

(委員)

次は冷たくない色の方がいい。

(事務局)

今後、他の所の様子を見ながら決めていきたい、特にLEDだと一般的にかなり白色度が高いので、できるだけ昼光色に近いような形にしたい。

(委員)

場所が高い所にあるというのもあるが、掛川城はぱっと目に飛び込む。旧見付学校も木がなくて、ぱっと正面から見ることであれば、結構なシンボルになるのではないかと。

(事務局)

22時を超えると、見付自体に人通りがないので、ライトアップは日没から22時までと考えている。夏でいえば3時間程度。冬の年末年始だと17時半から22時、4時間半程度。タイマーで調整できるので、お盆のライトアップについては検討する。

(委員)

旧見付学校は少し通りから引っ込んでいて分かりづらい。旧磐田市の皆さんは旧見付学校のことを当然知っていると思うが、逆に言うとそれ以外の人はあることすら知らない人が大半だと思う。ライトアップは目立つので効果はそれなりにあると思う。LEDも初期投資はかかるが、そんなに電気代はかからない。出来ればやっていただきたい。合併して10年以上経つが、広報等で目にすることが多くなり、以前より知っている人が多少増えていると思うが、地元の皆さんが思っているほど周りは知らない。知らなければ来る訳がない。ライトアップされたものを見て、何か珍しいものがあると気がついてもらうだけでも、地道だが、効果的な方法の一つと思う。

(委員)

自分が勤務していた頃、意外と見付の人たちはあるのが当たり前で、小学校の時に見たことがあるからといって中に入ってこない。それが、孫が小学校に入学したきっかけで何十年ぶりか中に入るといって方が結構いた。転勤で来た方が、磐田の事を知りたいといって来てくれた方も結構多かった。確かに旧磐田市以外の方は意外と知らないのかなと思う。

(委員)

合併前の周辺の町の小学生は旧見付学校に来ているのか。

(委員)

今は学府のバスを教育委員会で動かしてくれているおかげで結構増えている。22校中18校が来てく

れている。それまではバス代がかかったり、授業の時間数の関係で、あまりきている感じはなかった。旧市内はわりと来るが、周辺の町は少なかったように思う。

(委員)

ここまで来ても街中のため駐車場に苦勞する。あることすら知らないということになると足が向かないし、来ること自体ない。予算の限りもあると思うが、ライトアップはやるならバシッとやった方が効果はそれなりにあると思う。

(委員)

やっぱり日本最古ということイベント時にうたっていくべきではないか。我々にとって当たり前のこともしっかり文書等に書かなければいけないと思う。

(委員)

例えば、遠江国分寺跡は遺跡的にはずっと上のレベルだと思うが、あそこは何もない。想像するしかない。旧見付学校は現物があり、年配者には懐かしいものがいろいろと展示してある。どちらかと言えば、遠江国分寺跡に行くよりも旧見付学校へ行く方が見るものがたくさんある。みんなが興味を持つようにもっていければ、もっと関心が上がって、孫を連れて2、3時間滞在する、そして、旧見付学校良かったねと口コミで広がると思う。

(委員)

ぜひ、旧見付学校をアピールするついでに旧赤松家記念館もお願いしたい。レンガ造りが気になって、たまたま寄ったらよかったという方が結構いる。天宏での食後に寄って、こんな素晴らしい展示があるんですねと言う方もいる。旧赤松家記念館もライトアップをして、ここ何だろうともう少し思ってくれればいいし、日本最古ではないので、日本造船の父とアピールすることも考えつつ、旧見付学校と関連しながら一緒にやっていければ2つの文化財施設がもう少し盛り上がっていくのかなと考えた。ぜひ学校の先生の研修等で来ていただければと嬉しいなと思う。

(委員)

ライトアップの話があったが、見付の通りから旧見付学校の建屋はやっぱり見づらい。入口辺りの公園も総合的に壊してオープンにしたらどうかと思う。

(事務局)

あの公園はポケットパーク的なところでもあり、例えば木をもう少し低めに整備してあずまやのようなものをつくれれば見付の通りからは見えるようになると思うが、そのへんは都市整備課の考え方になる。ライトアップについては視覚的に訴えるということであればかなり有効だと思うので、週末や連休などに集中して、点灯できるような形ができるか前向きに検討したい

(委員)

立ち寄ったり、座ったり、コミュニティをとるような場所が、旧見付学校のあの空間の中にある。もう少しオープンなスペースがあれば良い空間になるという思いで、公園について言わせてもらった。

(委員)

見付の通りにいこい茶屋がある。あずまやもあり休憩できる。裏側はきれいに整備されていて、旧見付学校までつながっていて歩いていける。あの空間がもったいないと思っている。あのへんをもう少しうまく利用できたらいいと思う。

(事務局)

先ほど、2 ヶ年かけて耐震等の調査を実施していくという話をしたが、その先、旧見付学校の保存活用計画を作っていく中で、皆さんからのご意見、こういう機能が欲しい、こういう使い方ができればいいのではないか、敷地内だけでなく道路からの続きの中でどう考えていくかなどを生かしていけたらいいと考えている。

以上